



サッカー一部の夏 ～後輩に思いを託すパス～



最終試合のスターティングメンバー

夏を締めくくりました。前半10分、右足首捻挫の痛みをこらえながら出場していた3年生の檜垣亮成さんが、その右足で蹴ったコーナーキックのボール。それは、ゴール前へ放物線を描き、後輩の川村さんにつながり、そしてシュート!! 欲しかった先制点を獲りました。前半終了後のベンチで川村さんが発した前述の一言が、このチームの明るさと仲の良さを物語っています。後半には、3年生の三上七翔さんがダメ押しの3点目を決めるなど、終始、自分たちのサッカーを存分に発揮し続けました。有功中のメンバーとともに東和中のみんなが大活躍・大奮闘したナイスゲームでした。



気持ちを一つに!!

「亮成くん、最後やから」。2年生の川村陽さんがベンチで笑いを届けてくれました。8月2日に行われたサッカー部の試合。前日、西脇中に敗れた悔しさを胸に、最後の試合に臨んだ有功中との合同チームは3-1で勝利し、笑顔で

地域の方々の思いに応えるいい夏に!!

学校では、毎日、先生たちが学校中を消毒して、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を継続しています。それを知った地域の方が、生徒のみなさんの感染予防のために、先生方の負担軽減のためにと、アルコール消毒液をくださいました。深く感謝申し上げます。このように、みなさんのことを見守ってくださる地域の方の思いに応えられるよう、いま一度、感染対策を適切にしましょう。



現在、新型コロナウイルス感染症は、ますます広がっている状況と言えます。身近で、あるいは自分が感染してもまったく不思議ではありません。可能な限り感染しないよう、また、感染を拡げないように努めることが大切なのですが、何よりも、絶対に忘れてはいけないことがあります。感染者や感染を疑われた人、その家族への差別、偏見、誹謗中傷などは、絶対にあってはならないということです。また、根拠のない噂に惑わされないようにしましょう。SNSやインターネット等の情報が本当に正しいのかを判断できる人になりましょう。また、不確かなことを拡散してしまうようなことがないように、しっかりと考えて言動に注意しましょう。自分が不当に扱われる立場になったことを考えれば、それが、どれほどつらいことかはわかるはずです。この夏休みは、経験したことのない夏となりますが、考えながら行動すれば、素敵な成長をする夏となるはずです。心の健康を大切にする「いい夏休み」にしましょう。

